



▲大沢駅構内のスノージェットを撮影。

高校1年 中川 凜太郎

■山形新幹線 400 系密着取材の途中で・・・

昔、新幹線が通る前はスイッチバックがあった板谷峠。鉄道の難所の中に入っていた板谷峠であるが、時代が変わり、新幹線が通るようになり、そしてスイッチバックを行っていた各駅は影が薄くなってしまった。今回はそんな駅を訪れてみた。板谷峠での撮影ポイントを探そうと車で回っている途中、右手に大沢駅と思われるスノージェットが見えてきた。とりあえず、撮影ポイント探すため板谷方面へと進んでいったが、線路と道路がかなり離れて行くので断念し、引き返すことに。撮影をすることが好きであるうえ、列車に揺られて旅をしたり、廃線になった路線や駅を探訪することが好きな私。そんな私がこのチャンスを逃すのをもったいないと思い、途中通った大沢駅へと寄る事となった。

■大沢駅



今回の主役は、大沢駅。こちらの大沢駅は、JR 東日本が営業している方を言う。この駅は、無人であるこの駅はひっそりとしていて、列車は一日に 6 本しかなく、あとは新幹線が通過するのみである。この大沢駅はスノージェットの中に駅がある形となっている。スイッチバックを行う駅で赤岩駅を除く駅全てがスノージェットの中に駅がある。私個人的には面白いと思う。少々余談気味になるが、夏場板谷峠に 2 度訪れているが、涼しい感じがする。下の米沢市内が 27 度前後に対して、大沢駅が 23 度と半袖だと少々寒い？くらいの感じであった。(測定：移動に使用した自動車の温度計) ただし、涼しいからといって油断していると少々危ない。虫に慣れていない人は(自分含め)特にそうだ。直射日光を避けようと木陰の方へと進むと、虻の大群が襲ってくるのである。とはいえども蜂は襲撃に來なかつた。虫に慣れていない人は注意して散策するとよいだろう。

続いて、今回の主役である旧大沢駅へ。

■旧大沢駅





旧大沢駅は、スイッチバック時代に使われていた駅である。今となっては、人はほとんど通らず、雑草が生え放題になっていた。さらに、駅名表もすっかりペンキも落ち、さびれてしまった。今ではやっと文字が読める程度の雰囲気、かつて列車が行き来していた感じがほとんど感じられなくなってしまった。線路も途中で終わっており、今では保守をする専用の車両だけが通るだけとなっている。

駅構内も架線柱や、変電所のような部屋ぐらしか構内にはない。インターネットで調査している時に機関車が大沢駅で接続していた写真があったが、今ではレールは単線分しかなく、元の線路は歩道としてアスファルトで覆われてしまった。使われなくなってしまったとはいえ、少々残念に思った。

■最後に…

板谷峠内に駅が4駅ある。その中の1つは今回制覇した。残る3駅を訪れることができたら良いと思っている。

さらに、あまり情報が残っていないスイッチバックの仕組みを調べてみたいと思う。調査ができたら今後書いてゆこうと思う。

◆参考文献

Wikipedia 大沢駅・板谷峠

鉄路 奥羽本線板谷峠 福島・山形県(赤岩・板谷・峠・大沢)



□最後に

最後まで読んでくださった読者様、現地まで運転して下さった知り合いの方、ありがとうございました。